

令和4年度
(第11年度)

事業報告及び決算

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

公益社団法人岩手県農業公社

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| 第1 法人の概況等 | 1 |
| 1 概況 | 1 |
| 2 定款に定める目的 | 1 |
| 3 定款に定める事業内容 | 1 |
| 4 沿革 | 1 |
| 5 役員等に関する事項 | 2 |
| 6 職員に関する事項 | 3 |
| 7 主な資産 | 4 |
| 第2 事業報告 | 5 |
| 1 全体概要 | 5 |
| 2 各部門の事業報告 | 7 |
| (1) 総務部門 | 7 |
| ア 職員数の確保と組織体制の整備 | 7 |
| イ 研修の充実・強化と信頼される組織づくり | 7 |
| ウ 勤務条件の整備と働きやすい職場環境の実現 | 7 |
| エ 財務構造の改善と資産運用の強化 | 7 |
| オ 第5次経営改善実行計画の見直し | 8 |
| カ 新型コロナウイルス感染症対策 | 8 |
| (2) 農地中間管理部門 | 8 |
| ア 農地中間管理事業 | 8 |
| イ 推進体制の強化 | 9 |
| ウ 農地の集積・集約化の推進 | 10 |
| エ 貸借農地等の適正な管理 | 11 |
| オ 農地中間管理機構の特例事業（売買事業） | 11 |
| (3) 就農支援部門 | 12 |
| ア 新規就農者の確保・育成等 | 12 |
| イ いわて新農業人チャレンジファームの運営 | 14 |
| ウ 施設・機械等のリース事業を活用した担い手支援 | 14 |
| (4) 基盤整備部門 | 15 |
| ア 畜産振興事業 | 15 |
| イ 農地整備事業 | 16 |
| (5) 南畠地区事業用地部門 | 19 |
| ア 販売等に向けた取組 | 19 |
| イ 事業用地の利活用 | 19 |
| ウ 温泉施設の管理 | 19 |
| 第3 財務諸表 | 20 |
| 1 貸借対照表 | 20 |
| 2 貸借対照表内訳表 | 22 |
| 3 正味財産増減計算書 | 24 |
| 4 正味財産増減計算書内訳表 | 26 |
| 5 財務諸表に対する注記 | 30 |
| 第4 財産目録 | 33 |
| 監査報告書 | 37 |

第1 法人の概況等

1 概況

名 称：公益社団法人岩手県農業公社

理 事 長：上田幹也

創 立：昭和 32 年 5 月

本 社：盛岡市神明町 7 番 5 号

基盤整備部花巻事務所：花巻市二枚橋町南一丁目 46 番 3 号

2 定款に定める目的（定款第3条）

岩手県農業公社は、農用地の利用の効率化及び高度化の促進をはじめ農業構造の改善に資する事業等を推進するとともに、優れた農業担い手の育成確保を図り、もって岩手県農業の発展及び農村地域の振興並びに地域住民の生活福祉の向上に寄与すること。

3 定款に定める事業内容（定款第4条）

- (1) 農用地の利用の効率化及び高度化に関する事業
- (2) 農業の担い手の確保、育成及び定着促進に関する事業
- (3) 農用地の造成及び整備並びに農業用の施設及び機械等の整備に関する事業
- (4) 農業用の施設及び機械等並びに繁殖雌牛の貸付に関する事業
- (5) 国、県又は市町村等からの農業振興に係る業務の受託及び請負に関する事業
- (6) 耕起、播種及び収穫等の農作業の受託に関する事業
- (7) 南畠地区事業用地の処分に係る宅地建物取引業
- (8) 粗飼料の生産及び供給に関する事業
- (9) 前各号に規定するもののほか、目的を達成するために必要な事業

4 沿革

昭和 32 年 5 月 株式会社岩手県農地開発公社を設立（盛岡市内丸）

昭和 37 年 7 月 本社移転（盛岡市大通）

昭和 46 年 3 月 社団法人岩手県農地管理開発公社を設立（旧公社を解散）

昭和 46 年 7 月 農地保有合理化促進事業を行う法人の指定

昭和 48 年 3 月 本社移転（盛岡市菜園）

平成 14 年 3 月 機械整備工場の事務所改築

平成 14 年 4 月 社団法人岩手県農業公社に社名変更

（財団法人岩手県農業担い手育成基金と統合）

平成 14 年 4 月 岩手県青年農業者等育成センターの指定

岩手県新規就農相談センターを設置

平成 17 年 4 月 岩手県農業公社無料職業紹介事業所の開設

平成 22 年 6 月 本社移転（盛岡市神明町）

平成 24 年 4 月 公益社団法人に移行（公益社団法人岩手県農業公社）

平成 26 年 3 月 農地中間管理機構の指定

5 役員等に関する事項

(1) 社員名簿（令和5年3月31日現在）

9者

| |
|----------------|
| 岩手県 |
| 一関市 |
| 葛巻町 |
| 岩泉町 |
| 一戸町 |
| 岩手県農業協同組合中央会 |
| 全国農業協同組合連合会 |
| 岩手県信用農業協同組合連合会 |
| 一般社団法人岩手県農業会議 |

(2) 役員名簿（令和5年3月31日現在）

理事 15名 監事 2名

(任期：～令和6年6月)

| 役職名 | 氏名 | 現職等 |
|------|-------|------------------------|
| 理事長 | 上田幹也 | 常勤 |
| 常務理事 | 山館忠徳 | 常勤（職員兼務） |
| 常務理事 | 松原一彦 | 常勤（職員兼務） |
| 理事 | 藤代克彦 | 岩手県農林水産部長 |
| 理事 | 石川隆明 | 一関副市長 |
| 理事 | 鈴木重男 | 葛巻町長 |
| 理事 | 中居健一 | 岩泉町長 |
| 理事 | 小野寺美登 | 一戸町長 |
| 理事 | 後藤元夫 | 岩手県農業協同組合中央会 副会長理事 |
| 理事 | 高橋司 | 全国農業協同組合連合会 岩手県本部長 |
| 理事 | 杉原永康 | 一般社団法人岩手県農業会議 代表理事長 |
| 理事 | 大宮惇幸 | 岩手県土地改良事業団体連合会 会長 |
| 理事 | 青沼純一 | 岩手県農業農村指導士協会 会長 |
| 理事 | 高橋喜儀 | 岩手県認定農業者組織連絡協議会 会長 |
| 理事 | 照井勝也 | 岩手県農業法人協会 会長 |
| 監事 | 菅原和則 | 岩手県信用農業協同組合連合会 代表理事理事長 |
| 監事 | 小玉暢章 | 公認会計士 |

6 職員に関する事項

(単位：人)

| 区分 | 3年度期末 | 期首異動 | | 4年度期首 (異動後) | 期中異動 (期首異動を除く。) | | | 4年度期末 |
|------------------|-------|------|----|----------------|--------------------|----|-----|-------|
| | | 採用 | 異動 | | 採用 | 異動 | 退職 | |
| 総務部 | 13 | | △1 | 12 | | | △1 | 11 |
| 農地中間管理部 | 8 | 3 | △1 | 10 | | | △1 | 9 |
| 就農支援部 | 3 | | 1 | 4 | | | △1 | 3 |
| 基盤整備部 | 33 | 2 | | 35 | | | △4 | 31 |
| 計 (再雇用職員を含む。) | 57 | 5 | △1 | 61 | | | △7 | 54 |
| 期限付職員 | 7 | 2 | | 9 | 3 | △1 | △4 | 7 |
| 非常勤職員 | 20 | 1 | 1 | 22 | 1 | 1 | △3 | 21 |
| 計 | 27 | 3 | 1 | 31 | 4 | | △7 | 28 |
| 合計 | 84 | 8 | | 92 | 4 | | △14 | 82 |

7 主な資産

(1) 特定資産（令和5年3月31日現在）

| | |
|------------------------|--------------|
| ア 退職給付引当資産 | 50,476 千円 |
| イ 担い手育成特定資産 | 1,646,601 千円 |
| ウ 機械及び装置（自動操舵システム） | 1,370 千円 |
| エ 器具備品（Web会議システム、パソコン） | 1,115 千円 |

(2) その他資産（令和5年3月31日現在）

| | |
|----------------------------|-------------------------------|
| ア 土地：花巻市二枚橋町南一丁目46番地1ほか12筆 | 総面積 34,727.80 m ² |
| イ 建物：花巻市二枚橋町南一丁目46番地3 | 工 場 床面積 867.51 m ² |
| | 倉 庫 床面積 960.39 m ² |
| | 事務所 床面積 460.59 m ² |

ウ 機械車両装備

(単位：台)

| 区分 | 3年度期末 | 期 中 | | 4年度期末 |
|-----|------------|-----|----|-------|
| | | 増 | 減 | |
| 機械 | ブルドーザ | 6 | | 6 |
| | トラクタ | 44 | 2 | 45 |
| | スクレーパードーザ | 2 | | 2 |
| | バックホウ | 4 | 1 | 4 |
| | ホイルローダ | 2 | | 2 |
| | ゴムクローラキャリア | 11 | | 11 |
| | 自走式ハーベスター | 1 | | 1 |
| | 自走式木材樹皮粉碎機 | 1 | | 1 |
| | 除雪用機械 | 1 | | 1 |
| 車両 | 作業機 | 151 | 9 | 159 |
| | 計 | 223 | 12 | 232 |
| | トラック | 2 | | 2 |
| | フォークリフト | 1 | | 1 |
| 乗用車 | 乗用車 | 1 | | 1 |
| | 計 | 4 | | 4 |
| 合 計 | | 227 | 12 | 236 |

(注) 畜産近代化リース協会のリース資産を含む。

第2 事業報告

1 全体概要

令和4年度は、いわて県民計画（2019～2028）が掲げる10年後の目指す姿を見据えながら、第5次経営改善実行計画（R2～R6）の中間年として、各部門の事業計画を着実に実施するため、期首に新たに8名の職員を採用するなど組織体制を整備するとともに、農業者のニーズに応じて、各種事業を積極的に推進しました。

各部門のうち、総務部門では、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、夏季休暇を拡充するなど勤務条件の改善を進め、働きやすい職場環境づくりに取り組みました。

農地中間管理部門では、地域農業マスターープランに基づく担い手への農地の集積・集約化を重点的に進めるため、県及び市町村が選定した「集中支援モデル地区」（31地区）への支援を行うなど、関係機関・団体と連携のうえ、規模拡大を志向する中心経営体や法人化を目指す集落営農組織等に対し、農地中間管理事業（以下「機構事業」という。）を活用した農地の貸借を進めました。その結果、借入、貸付は計画を下回りましたが、新規集積面積は、おおむね目標を達成できました。

就農支援部門では、新規就農者の確保・育成と定着促進を図るため、県が実施する就農相談活動に積極的に協力するとともに、担い手育成特定資産を活用した体験研修等を実施したほか、半農半Xや定年帰農を志向する方等を対象に「いわて新農業人チャレンジファーム」を開催しました。

基盤整備部門のうち畜産振興事業では、資材・燃料価格高騰の状況の中、必要な予算を確保し、おおむね計画どおり事業を実施しました。

農地整備事業のうち暗渠排水工事では、円安に伴う資材価格の高騰等により、県からの受注が減少したため、面積、金額はともに計画を下回りました。

南畠地区事業用地部門では、宅地付き農地1区画について、販売に向けて仮契約を締結しました。

このことにより、当期一般正味財産増減額は、5,194万円余の減となりました。

【収支の状況】

(単位：千円)

| 区分 | | 4年度実績 | 4年度計画 | 増減 | |
|---------------------|----------------|-----------|-----------|-----------|--|
| 農地中間管理部門(公益1) | 事業収入 | 1,331,486 | 1,427,634 | △96,148 | |
| | 事業支出 | 1,340,295 | 1,441,304 | △101,009 | |
| | 収支 | △8,809 | △13,670 | 4,861 | |
| 就農支援部門(公益2) | 事業収入 | 45,620 | 45,743 | △123 | |
| | 事業支出 | 60,544 | 71,611 | △11,067 | |
| | 収支 | △14,924 | △25,868 | 10,944 | |
| 基盤整備部門 | 畜産振興 (公益3) | 事業収入 | 875,398 | 435,716 | |
| | | 事業支出 | 876,456 | 453,421 | |
| | | 収支 | △1,058 | △17,705 | |
| | 農地整備等 (収益1) | 事業収入 | 584,575 | 925,742 | |
| | | 事業支出 | 588,388 | 824,357 | |
| | | 収支 | △3,813 | △105,198 | |
| 南畠地区事業用地部門 (収益2) | | 事業収入 | 80 | 8,000 | |
| | | 事業支出 | 7,779 | 20,740 | |
| | | 収支 | △7,699 | △12,740 | |
| 法人会計 | | 収入 | 1,136 | 240 | |
| | | 支出 | 21,262 | 20,378 | |
| | | 収支 | △20,126 | △20,138 | |
| 経常収支計(A) | | 収入 | 2,838,295 | 2,843,075 | |
| | | 支出 | 2,894,724 | 2,831,811 | |
| | | 収支 | △56,429 | 11,264 | |
| 経常外収支計(B) | | 4,614 | 1,500 | 3,114 | |
| 法人税、住民税及び事業税(C) | | 132 | 132 | 0 | |
| 当期一般正味財産増減額(A+B-C) | | △51,947 | 12,632 | △64,579 | |

(注) 基盤整備部門の農地整備等(収益1)には、就農支援部門と畜産振興部門の収益事業を含む。

2 各部門の事業報告

(1) 総務部門

ア 職員数の確保と組織体制の整備

退職者の補充や農地中間管理部門の貸借実務の安定的な実施のため、4月に8名の職員（正職員5名、期限付職員2名、非常勤職員1名）を採用したほか、2月には、有期雇用職員1名を正職員に採用しました。

イ 研修の充実・強化と信頼される組織づくり

令和4年度の職員研修計画に基づき、内部研修では、新規採用職員研修や文書・契約・経理などの基礎研修を実施しました。また、職員全体研修会では、外部講師により、地球温暖化に伴う日本・岩手県の気候の変化や盛岡市の鳥獣被害対策の取組について学びました。

外部研修では、県への派遣研修（1名）のほか、県農林水産部主催の新採用・若手職員研修への参加（6名）などに取り組みました。

また、職場環境の改善や職場定着のための取組として、役員と若手職員との意見交換会を実施しました。

併せて、職員評価制度と職員満足度調査を通じて職員個々の努力と貢献度等を適正に評価するとともに、職員全体研修会において理事長表彰を行い、職員のモチベーションの向上を図りました。

ウ 勤務条件の整備と働きやすい職場環境の実現

仕事と生活の調和のとれた働き方ができるよう、改正育児・介護休業法に対応し、関係規程の見直しを行うとともに、「妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスマント対策」をコンプライアンスマニュアルに追加し、職員への周知・啓発を図りました。なお、本年度は育児休業の取得者が、2名（男性1名、女性1名）ありました。

また、夏季におけるお盆等の諸行事や心身の健康維持・増進に資するため、公社の休日を拡充するとともに夏季特別休暇（2日間）を新設しました。

エ 財務構造の改善と資産運用の強化

県営暗渠排水工事の受注減により厳しい収支となったことから、支出費用の縮減や補助金等の収入確保に努めました。

また、担い手育成特定資産の運用益を確保するため、運用規程等に基づき、今年度は額面1億円の社債を取得しました。これにより、債券での運用は15億1,000万円となり、計画を上回る1,635万円の運用益を確保しました。

オ 第5次経営改善実行計画の見直し

令和2年3月に策定した第5次経営改善実行計画（令和2年度～令和6年度）について、これまでの県の運営評価での指摘事項や外部経営調査の結果を踏まえつつ、農業経営基盤強化促進法（以下「基盤法」という。）等の改正、県民計画第2期アクションプラン等の策定といった情勢の変化に対応し、所要の改訂を行いました。

カ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症防止のため、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、職場で感染者が発生した場合の濃厚接触者の特定方法や自宅待機期間の服務等を整理したマニュアルを策定し、職場での対策に努めました。

(2) 農地中間管理部門

ア 農地中間管理事業

県域5機関で策定した「地域農業マスタープランの実践に向けた農地集積・集約化の推進方針」に掲げる担い手への農地集積目標の達成に向け、県、市町村等関係機関・団体と連携を図りながら、地域農業マスタープランの実践と農地の集積・集約化に取り組みました。

令和4年度の農地の貸借実績は、借り入れが1,810ha（計画比78.7%）、貸付けが2,117ha（計画比81.4%）となり、いずれも計画を下回りましたが、新規貸付面積は1,059ha（計画比96.3%）となり、おおむね計画を達成しました。

【借入、貸付実績】

（単位：ha、千円、%）

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 | |
|--------|------------------|--------|-------|--------|------|-------|
| | 面積 | 契約金額 | 面積 | 契約金額 | 面積 | 契約金額 |
| 借入 | 1,810 (1,893) | 71,760 | 2,300 | 77,000 | 78.7 | 93.2 |
| 貸付 | 2,117 (2,182) | 89,179 | 2,600 | 87,000 | 81.4 | 102.5 |
| うち新規面積 | 1,059 | — | 1,100 | — | 96.3 | — |

（注1）面積及び契約金額は公告日で、（ ）は権利発生日（貸借期間開始日）で捉えた数値である。

（注2）貸付の面積及び契約金額には、再設定、再配分を含む。

（注3）契約金額には、翌年度から発生する賃料を含む。

【貸借面積の状況（累計）】

(単位：ha)

| 3年度期末 | | | 4年度実績 | | | 4年度期末 | | | |
|---------|---------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|------------------|-------------------|
| 借入 ① | 貸付 ② | 未貸付 ①-② | 借入 ③ | 貸付 ④ | 解約・期間満了 | 借入 ⑤ | 貸付 ⑥ | 貸付 ⑦ ①+③-⑤ | 未貸付 ⑧ ②+④-⑥ |
| | | | | | | | | | ⑦-⑧ |
| 19,922 | 19,916 | 6 | 1,893 | 2,182 | 1 | 296 | 21,814 | 21,802 | 12 |

(注) 数値は、権利発生日で集計している。

【貸借金額の実績】

(単位：千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | 4年度計画 | 計画対比 |
|---------|-----------|-----------|-------|
| 借入（支払）① | 1,102,574 | 1,082,891 | 101.8 |
| 貸付（収入）② | 1,102,269 | 1,082,891 | 101.8 |
| 差額（②-①） | △305 | 0 | — |

(注) 差額は、貸付先が決定していない農地の賃料であり、その賃料には補助金を充てている。

イ 推進体制の強化

(ア)円滑な貸借業務の推進

市町村や農業委員会事務局の実務担当者の貸借事務が円滑に進むよう、農地中間管理事業実務者研修会（以下「実務者研修会」という。）を開催（4/21）し、市町村巡回を行うとともに、農地中間管理事業便覧の改訂（8月）を行い、市町村等へ配布しました。

また、基盤法等の一部改正により貸借等の仕組みが変わることから、全市町村を巡回（1/17～1/27）し、改正内容と機構事業に係る運用の変更について説明のうえ、連携活動等の協力を依頼したほか、機構事業の実務説明会を開催（3/24）し、事業実施規程の改正や手続き様式の変更について周知しました。

(イ)関係機関等との連携強化

県域5機関で情報共有を図るため定例会議を開催したほか、農業会議と連携し、地域農業マスターープラン実践塾（10/31、11/11、12/7、3/3）など各種研修・会議を共同開催しました。

また、農地コーディネーターが、農業委員や農地利用最適化推進委員との現地活動の連携を図るため、農地利用最適化推進検討会に参加したほか、農業委員会等農地事務担当職員研修会（6/17）等で農業委員会との連携について事例発表を行いました。

ウ 農地の集積・集約化の推進

(ア) 地域農業マスター プランの実践支援

地域農業マスター プランの実践を支援するため、市町村の人・農地問題解決加速化推進チーム（以下「市町村推進チーム」という。）の一員として、農地コーディネーターと担当職員等が地域の話し合い等に参画し、機構事業の活用を促すとともに、「集中支援モデル地区」において掲げる目標達成に向け、現況地図の作成などへの支援を行いました。

また、基盤法等の一部改正を踏まえ、農業者等への農地の有効活用と地域農業経営基盤強化促進計画（以下「地域計画」という。）策定の意識醸成を図るため、地域計画策定に向けたスタートアップ活動（開会式 7/15）を開催したほか、岩手県農地集積・集約化推進会議（4/26、11/2、2/2）では、県及び市町村が広域振興局単位に選定した「地域計画策定の先行モデル地区」（4 地区）の取組等について情報共有しました。

(イ) 登録農地の拡大

農業委員会がリスト化した貸付意向農地のうち貸付が見込めない農地や、農地法に基づく利用意向調査の結果、機構事業を利用する意思がある旨の表明があった農地を「登録農地」として整理（盛岡市外 10 市町で追加）し、地域農業マスター プランに位置付けられた中心経営体等への貸借に結び付くよう、市町村推進チーム及び農業委員会へ情報提供しました。

また、実務者研修会では、市町村や農業委員会事務局の実務担当者に対し、登録農地制度の説明を行い、周知を図りました。

【登録農地の面積】

（単位：ha）

| 区分 | 登録 ① | 機構扱い ② | その他 ③ | ストック ①-(②+③) |
|-------|---------|-----------|----------|-----------------|
| 3 年度末 | 192.1 | 30.1 | 22.9 | 139.1 |
| 4 年度末 | 67.9 | 1.5 | 0.9 | 65.5 |
| 計 | 260.0 | 31.6 | 23.8 | 204.6 |

（注1） 「機構扱い」は、機構事業（貸借）及び特例事業（売買）により結び付いた面積である

（注2） 「その他」は、機構以外の利用権設定、転用・非農地判断された農地等の面積である。

（ウ）基盤整備事業との連携強化

基盤整備事業が農地の集積・集約化の契機となることから、基盤整備事業を計画中又は実施中の土地改良区に対する機構事業の周知や活用の働きかけ等の業務を、令和 3 年度に引き続き 6 土地改良区（山王海、猿ヶ石北部、豊沢川、一関東部、藤沢及び遠野市）に委託しました。

農家負担なしで整備を実施できる機構関連農地整備事業を計画している地区について、県、市町村及び土地改良区と連携して、事業説明会を開催し、令和 5 年度事業採択に向け、花巻市石鳩岡地区で約 37ha、一関市畠の沢地区で約 8 ha の農地

中間管理権の設定を行いました。

(エ) 集中支援モデル地区等への機構事業の推進

「集中支援モデル地区」において掲げる目標達成に向け、市町村や農業委員会と連携し、機構事業の説明会や契約会の開催などの支援を行った結果、滝沢市 大沢地区 75ha、岩手町 土川・土川野原・新田地区 96ha、奥州市 真城地区 57ha、陸前高田市 金成地区 27ha 等で農地の集積を進めることができました。

(オ) 農地中間管理事業の周知

農業会議通信に記事を掲載(7/1号)し、全国農業新聞(岩手版)に記事及び広告を掲載(7/15、11/18)したほか、新農業人フェア in いわてに相談ブースを設置(8/26、1/14)し、機構事業のPRを行うとともに、農地を借りたい人等へ機構事業の仕組みを説明するなどその周知を図りました。

エ 貸借農地等の適正な管理

(ア) 貸借契約管理事務の効率化

貸借契約管理事務の効率化及び令和6年度以降の貸借期間満了に伴う再設定に向け、文書管理システムによる過年度契約書類の電子化に取り組みました。このうち、借入データの電子化については、おおむね完了しました。

(イ) 未収金・未払金の発生防止

未収金・未払金の発生を防止するため、三面圧着葉書を活用して個人情報の漏洩防止に配慮しつつ、受け手農家へは振替口座の残高確認と遅延した場合は違約金が発生する内容を記した通知(10月)を、出し手農家へは振込口座の事前確認を求める通知(11月)を行いました。

相続人等から、所有者死亡による振込口座の変更等について500件を超える問い合わせがありましたが、手続き方法を説明のうえ書類提出の依頼文書を送付するなど、迅速かつ丁寧に対応し、未払金発生の防止に努めました。

オ 農地中間管理機構の特例事業(売買事業)

農地の所有権の取得により規模拡大を希望する認定農業者等のため、農業委員会やJAと連携しながら事業を推進しましたが、買入れが59.5ha、売渡しが64.4haとなり、いずれも計画を下回りました。

【売買実績】

(単位: ha、千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 | |
|----|-------|--------|-------|---------|------|------|
| | 面積 | 金額 | 面積 | 金額 | 面積 | 金額 |
| 買入 | 59.5 | 48,135 | 90.0 | 150,000 | 66.1 | 32.1 |
| 売渡 | 64.4 | 47,831 | 90.0 | 150,000 | 71.6 | 31.9 |

(注) 数値は、公告日で集計している。

(3) 就農支援部門

ア 新規就農者の確保・育成等

(ア) 確保対策

就農相談活動は、令和4年度から県が事業実施主体となったため、県から新規就農相談会開催・運営業務を受託して、「新農業人フェア in いわて」及び「農業を始めたい人の相談会」に係る広報活動や当日の運営補助などを契約どおりに実施しました。

農業体験研修では、農作業体験を希望する方等向けの「チャレンジコース」の参加者が10名、研修先や雇用就農先を探している方等を対象にした「インターンシップコース」の参加者が13名で、計画を下回りましたが、23名のうち6名が就農する予定になっています。

職業としての農業への理解促進では、農業高校4校の農業クラブに対して、プロジェクト発表会に向けた研究活動を支援しました。

(単位：人・学校数、千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 (人数等) | 備考 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|---------------|---------------------------------|
| | 人数等 | 金額 | 人数等 | 金額 | | |
| 就農相談活動支援 | 12 | 1,428 | 20 | 3,222 | 60.0 | ・相談会開催（県内12回） |
| 農業体験研修 | 23 | 733 | 30 | 816 | 76.7 | ・チャレンジコース10名 ・インターンシップコース13名 |
| 農業次世代人材投資事業 | — | — | 6 | 156 | 0.0 | ・県からの委託業務中止 |
| 農業への理解促進 | 4 | 375 | 6 | 600 | 66.7 | ・高等学校の農業クラブの学習活動 |
| 計（公益2） | 39 | 2,536 | 62 | 4,794 | 62.9 | |

(イ) 育成対策

研修支援では、岩手県立農業大学校が実施する新規就農者研修（基礎コース）への助成が計画に比べ件数、金額ともに減少したため、全体でも減少しました。

経営支援では、新規就農者及び就農5年以内の認定農業者に対して、経営の早期安定を図るため、農業機械の取得や中古ハウスの移設等に要する経費の一部を助成しました。このうち、機構事業を利用した新規就農者への支援は、7件でした。

(単位：件、千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 (件数) | 備考 |
|--------|-------|--------|-------|--------|--------------|--------------------------------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | | |
| 研修支援 | 24 | 3,622 | 29 | 5,850 | 82.8 | ・新規就農者研修（基礎コース）11件 ・受入経営体への助成13件 |
| 経営支援 | 30 | 13,371 | 32 | 13,160 | 93.8 | ・農業機械施設導入への支援28件 ・地域における支援体制の構築2件 |
| 計（公益2） | 54 | 16,993 | 61 | 19,010 | 88.5 | |

(ウ)定着促進対策

県農村青年クラブ連絡協議会が実施するクラブ大会や青年の集いの開催を支援したほか、県内3農業青年グループが行う農業経営向上等の研究活動を支援しましたが、研究活動の要望が大きく減少したため、件数、事業費とともに計画を下回りました。

(単位：件、千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 (件数) | 備考 |
|-------------|-------|-----|-------|-------|--------------|----------------------------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | | |
| 組織活動促進（公益2） | 6 | 883 | 15 | 1,580 | 40.0 | ・研究実践活動への支援3件 ・リーダー研修会等への支援3件 |

(エ)地域活動の促進と情報収集・発信

県内11の地方農業担い手育成推進協議会が実施する研修会や相談会の開催等を支援しました。

また、公社のホームページやメールマガジンなどのソーシャルメディアを活用し、農業を始めたい方に向けてきめ細やかに情報を発信したほか、「岩手U・Iターンクラブ」に加盟している県外教育機関に定期的に就農情報を提供しました。

(単位：件、千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 (件数) | 備考 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|--------------|--|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | | |
| 地方協議会活動支援 | 11 | 2,063 | 11 | 3,850 | 100.0 | ・地方農業担い手育成推進協議会の活動支援 |
| 情報収集発信 | — | 165 | — | 500 | — | ・ホームページやフェイスブックでの発信、メールマガジンの配信、各種広報媒体への掲載等 |
| 計（公益2） | 11 | 2,228 | 11 | 4,350 | 100.0 | |

イ いわて新農業人チャレンジファームの運営

受講希望者が多かったため、定員を上回る22名を受け入れて研修を実施しましたが、受講生の都合による途中辞退等があり、修了生は最終的に18名となりました。

このうち、研修期間中に1名が認定新規就農者となったほか、12名が将来、独立・自営就農や雇用就農など、何らかの形で農業に関わることを計画しています。

また、研修ほ場の連作障害を回避するため、ほ場を拡張し、適切な作物ローテーションに取り組んだほか、欠席者に対しては、講義や実習の様子を記録した動画を提供し、他の受講生と同様に学習できるように配慮しました。

さらに、これまでの修了生と受講生の交流を図るとともに、研修に関連する各種情報を提供するため、Facebookのグループを活用して、「SNS同窓会」を設置し、事務局から積極的に情報発信し、またその利用促進に努めました。

(単位：人、千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 (人数) | 備考 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|--------------|----------------------------------|
| | 人数 | 金額 | 人数 | 金額 | | |
| 農業研修 (公益2) | 18 | 2,667 | 20 | 3,392 | 90.0 | ・4月～1月、月2～3回全25回 ・金曜コース、土曜コース |

ウ 施設・機械等のリース事業を活用した担い手支援

農業者の経営や産地の育成を支援するため、「いわてリーディング経営体育成支援事業」(リース期間7年)及び「いわて型野菜トップモデル産地創造事業」(リース期間7年)に係る農業機械・施設のリース事業の進捗管理を継続して行いました。

(単位：件、千円、%)

| 区分 | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 (件数) | 備考 |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------------|--|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | | |
| 経営支援 | 7 | 5,489 | 7 | 5,489 | 100.0 | いわてリーディング経営体育成支援事業 (H30：1件、H29：4件、H28：2件) |
| 産地育成支援 | 7 | 1,253 | 7 | 1,253 | 100.0 | いわて型野菜トップモデル産地創造事業 (R2：3件、R元：3件、H30：1件) |
| 計(収益1) | 14 | 6,742 | 14 | 6,742 | 100.0 | |

(4) 基盤整備部門

ア 畜産振興事業

(ア)草地畜産基盤整備事業

4地区（葛巻第二地区、奥州金ヶ崎地区、八幡平地区、いわて北部地区）で粗飼料の生産基盤や畜舎等の整備を継続して進めました。

資材・燃料等の価格高騰の影響を受け事業に要する経費が増加する中、必要な予算の確保に努め、併せて事業参加者に丁寧な説明を行いながら、計画どおりに事業が実施できるように取り組みました。

その結果、葛巻第二地区、奥州金ヶ崎地区は事業完了となりました。一方、八幡平地区については、事業内容の精査に時間を要したため、事業量は減となりました。

(イ)畜産環境総合整備事業

久慈市夏井地区（久慈市）は、老朽化が著しい堆肥処理施設の設備改修が計画どおり進み、事業完了となりました。

(ウ)計画策定業務

田野畠地区において、令和5年度事業開始に向けて整備計画の策定業務を行いました。

（畜産振興事業）

（単位：千円、%）

| 区分 | | 4年度実績 | 4年度計画 | 計画対比 | 備考 |
|------------------------------|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------|---------|
| 草地畜産 基盤整備事業 | 葛巻第二地区(H29～R4) | 415,511 <415,511> | — <—> | | 4年度事業完了 |
| | 奥州金ヶ崎地区(H30～R4) | 24,622 | 23,848 | 103.2 | 4年度事業完了 |
| | 八幡平地区(R元～R6) | 12,587 | 31,239 | 40.3 | 事業量減 |
| | いわて北部地区(R2～R6) | 335,347 | 322,239 | 104.1 | |
| | 小計(4地区) | 788,067 <415,511> | 377,326 <—> | 208.9 | |
| 畜産環境 総合整備事業 | 久慈市夏井地区(R元～R4) | 62,890 | 58,390 | 107.7 | 4年度事業完了 |
| 計(公益3) <うち繰越分> 《繰越分除き》 | | 850,957 <415,511> 《435,446》 | 435,716 <—> 《435,716》 | 195.3 《99.9》 | |
| 計画策定業務 田野畠地区 (R5～R9) | | 7,700 | 7,700 | 100.0 | |
| 計(収益1) | | 7,700 | 7,700 | 100.0 | |
| 合 計 <うち繰越分> 《繰越分除き》 | | 858,657 <415,511> 《443,146》 | 443,416 <—> 《443,416》 | 193.6 《99.9》 | |

（注）事務的経費を含む。

イ 農地整備事業

(ア) 草地畜産基盤整備事業（直営事業）

草地造成等整備工事では、計画どおり3地区（奥州金ヶ崎地区、八幡平地区、いわて北部地区）を公社直営で施工しました。

測量設計業務では、2地区（奥州金ヶ崎地区、いわて北部地区）を実施したほか、田野畠地区の計画策定業務に係る基本設計を実施しました。

(イ) 暗渠排水工事

県営工事では南方地区（奥州市）など9地区で工事を受注し施工しましたが、円安に伴う資材価格の高騰等の影響により工事価格の増嵩が見込まれたため、限られた予算の中では場整備における整地工を優先してほしいという受益農家の意向を踏まえた県の方針のもと、暗渠排水の施工区域の縮小に伴い受注が減少したことから、面積・金額ともに計画を下回りました。

また、土地改良区や市町村が発注する団体営工事では遠野地区など14地区で、農業者からの小規模な工事では花巻市など8地区で工事を受注し、おおむね計画どおり施工しました。

この他、農業研究センターから、簡易地下水位制御システムの試作に係る業務を受託し、実施しました。

(ウ) 農地改良事業等

農業者の依頼を受け、小規模な畠地整備、均平作業等を花巻市など5市で9件受注し、施工しました。

また、北上市の県農業研究センターのほ場管理業務などを3市町で5件受託し、実施しました。

(エ) 営農支援事業

粗飼料生産の作業受託では、農家の要望に基づきおおむね計画どおり作業を実施しました。

粗飼料広域生産供給事業では、デントコーンは、早生品種を作付けし、適期の8月下旬に収穫して、面積・金額ともにおおむね計画どおり生産しました。牧草は、南畠地区事業用地での雑草繁茂（ハルガヤ）対策のため生産を休止しました。

また、東北農業研究センターからオギスキ新品種開発の実証試験に係る収穫作業を受託し、実施しました。

(オ)スマート農業への対応等

営農支援事業では、国の補助事業等を活用して導入した自動操舵システムをトラクターに装着し、デントコーンの播種や施肥作業を行いました。

直営の測量設計業務では、GNSS測量システム（衛星測位システムを活用した測量システム）による計画測量を行いました。

暗渠排水工事では、自動操舵システムを補助暗渠の施工に、GNSS測量システムを出来形測量に活用しました。

(カ)技術の継承と業務の効率化

現場業務に必要な資格・免許等を計画的に取得させるとともに、若手職員の業務適正に応じたOJTにより、個々のスキルアップに取り組みました。

また、補助暗渠機を新規に5台製作し、その作業を通じて特許技術の継承に取り組みました。

(キ)作業の安全確保の徹底

安全衛生委員会の安全パトロールに加え、農地整備室管理職による現場巡回活動を行うとともに、「安全だより」を毎月発行し、安全確保への意識啓発に取り組みました。さらに、外部講師を迎える安全大会を開催しました。

また、感染症、暑熱及び防寒対策を強化するなど、現場の安全衛生環境の改善に取り組みました。

(農地整備事業)

(単位:ha、千円、%)

| 区分 | | 4年度実績 | | 4年度計画 | | 計画対比 | | 備考 |
|------------|--------------|---------|---------|--------|---------|--------|-------|---------------------|
| | | 面積 | 金額 | 面積 | 金額 | 面積 | 金額 | |
| 草地畜産基盤整備事業 | 草地造成等整備工事 | 42.8 | 59,653 | 35.3 | 68,132 | 121.2 | 87.5 | 奥州金ヶ崎地区など3地区 |
| | 測量設計業務 | (111.7) | 5,720 | (32.0) | 9,372 | — | 61.0 | 奥州金ヶ崎地区など3地区 |
| 計 (公益3) | | 42.8 | 65,373 | 35.3 | 77,504 | 121.2 | 84.3 | |
| 暗渠排水工事 | 県営工事 | 107.4 | 333,262 | 270.0 | 733,100 | 39.8 | 45.5 | 南方地区など9地区 |
| | 団体営工事 | 36.5 | 87,390 | 35.0 | 87,500 | 104.3 | 99.9 | 遠野地区など14地区 |
| | 小規模工事 | 6.3 | 8,633 | 6.0 | 6,600 | 105.0 | 130.8 | 花巻市など8地区 |
| | 小計 | 150.2 | 429,285 | 311.0 | 827,200 | 48.2 | 51.9 | |
| 農地改良事業等 | 草地更新・畠地整備等工事 | 13.5 | 2,976 | 25.0 | 3,200 | 54.0 | 93.0 | 花巻市など5市 |
| | ほ場管理業務等 | 6.1 | 30,916 | 6.0 | 30,700 | 101.7 | 100.7 | 北上市など3市町 |
| | 小計 | 19.6 | 33,892 | 31.0 | 33,900 | 63.2 | 100.0 | |
| 営農支援事業 | 作業受託 | 牧草 | 69.1 | 8,525 | 90.0 | 9,600 | 76.8 | 88.8 金ヶ崎町など |
| | | テンントローン | 221.0 | 34,427 | 240.0 | 37,300 | 92.1 | 92.3 滝沢市など |
| | 小計 | | 290.1 | 42,952 | 330.0 | 46,900 | 87.9 | 91.6 |
| | 粗飼料広域生産供給事業 | 牧草 | — | — | — | — | — | ハルガヤ対策で生産休止 |
| | | テンントローン | 12.4 | 5,983 | 12.4 | 5,500 | 100.0 | 108.8 生産・販売ホール数451個 |
| | 小計 | | 12.4 | 5,983 | 12.4 | 5,500 | 100.0 | 108.8 |
| | 計 | | 302.5 | 48,935 | 342.4 | 52,400 | 88.3 | 93.4 |
| 計 (収益1) | | 472.3 | 512,112 | 684.4 | 913,500 | 69.1 | 56.1 | |
| 合計 | | 515.1 | 577,485 | 719.7 | 991,004 | 71.6 | 58.3 | |

(注1) 草地畜産基盤整備事業の金額は、ア畜産振興事業の(ア)草地畜産基盤整備事業に含む。

(注2) 粗飼料広域生産供給事業の金額は、販売額である。

(5) 南畠地区事業用地部門

ア 販売等に向けた取組

宅地付き農地の販売促進のため、東京都で行われた「岩手県移住フェア（9月）」及び「在京岩手産業人会新春岩手の集い（1月）」に参加し、首都圏在住者向けにPR活動を行いました。

販売については、令和3年度に引き続き、1区画の購入申込があり、3月に売買仮契約を締結しました。

また、南畠地区コテージむらの新たな展開に向けた計画の策定や推進体制の整備を検討するため、県、雫石町、NPO及び公社による「雫石町南畠・コテージむら計画策定検討会議」（事務局：県）に参画し、7回の協議を行いました。

イ 事業用地の利活用

いわて新農業人チャレンジファームの実施場所としての利活用を進めました。また、県や雫石町、地元NPO等と連携しながら、花壇の整備や草刈などの環境整備を行いました。

ウ 温泉施設の管理

令和3年度に発生した漏水箇所及びその原因を特定するため、3回の漏水調査を実施したところ、2か所からの漏水が確認されました。

補修については、耐久性・経済性等の観点から最適な工法を選定し、令和5年度に補修工事を実施する予定です。

第3 財務諸表

1 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 49,423,933 | 50,331,386 | △ 907,453 |
| 農地中間管理事業等未収金 | 4,327,361 | 2,996,737 | 1,330,624 |
| 農地中間管理事業等貸倒引当金 | △ 771,854 | △ 337,557 | △ 434,297 |
| 畜産振興事業未収金 | 0 | 44,313,749 | △ 44,313,749 |
| 農地整備事業未収金 | 225,664,950 | 496,367,473 | △ 270,702,523 |
| 未収補助金等 | 13,579,900 | 11,467,900 | 2,112,000 |
| その他の未収金 | 23,438,102 | 4,058,449 | 19,379,653 |
| リース債権 | 8,314,060 | 14,621,965 | △ 6,307,905 |
| 前払賃借料 | 327,700 | 655,400 | △ 327,700 |
| 農地中間管理特例事業用地 | 112,253,934 | 117,010,765 | △ 4,756,831 |
| 南畠地区事業用地 | 651,198,200 | 651,198,200 | 0 |
| 出資金預け金 | 483 | 183 | 300 |
| 前払費用 | 6,196,528 | 131,301,347 | △ 125,104,819 |
| 前払金 | 1,219,454 | 1,122,778 | 96,676 |
| 貯蔵品 | 939,974 | 25,400 | 914,574 |
| 流動資産合計 | 1,096,112,725 | 1,525,134,175 | △ 429,021,450 |
| 2 固定資産 | | | |
| (1) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 50,476,482 | 43,683,582 | 6,792,900 |
| 扱い手育成特定資産 | 1,646,600,500 | 1,767,964,700 | △ 121,364,200 |
| 機械及び装置 | 3,641,220 | 3,641,220 | 0 |
| 機械及び装置減価償却累計額 | △ 2,271,593 | △ 1,722,976 | △ 548,617 |
| 器具備品 | 2,711,940 | 2,711,940 | 0 |
| 器具備品減価償却累計額 | △ 1,596,525 | △ 1,083,999 | △ 512,526 |
| 特定資産合計 | 1,699,562,024 | 1,815,194,467 | △ 115,632,443 |
| (2) その他固定資産 | | | |
| 建物 | 83,197,962 | 83,197,962 | 0 |
| 建物減価償却累計額 | △ 75,014,195 | △ 74,352,150 | △ 662,045 |
| 構築物 | 29,468,791 | 29,468,791 | 0 |
| 構築物減価償却累計額 | △ 18,047,336 | △ 16,370,789 | △ 1,676,547 |
| 機械及び装置 | 421,303,212 | 397,061,334 | 24,241,878 |
| 機械及び装置減価償却累計額 | △ 384,511,731 | △ 390,597,507 | 6,085,776 |
| 車両運搬具 | 3,327,220 | 3,327,220 | 0 |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 2,629,377 | △ 2,164,150 | △ 465,227 |
| 器具備品 | 30,332,039 | 29,079,239 | 1,252,800 |
| 器具備品減価償却累計額 | △ 26,631,332 | △ 24,349,333 | △ 2,281,999 |
| リース資産 | 86,127,423 | 52,492,062 | 33,635,361 |
| 土地 | 31,032,220 | 31,032,220 | 0 |
| ソフトウェア | 438,516 | 822,816 | △ 384,300 |
| 建設仮勘定 | 0 | 5,072,213 | △ 5,072,213 |
| 電話加入権 | 423,200 | 423,200 | 0 |
| 出資金 | 3,420,000 | 3,421,000 | △ 1,000 |
| 預託金 | 650,000 | 650,000 | 0 |
| 支払保証金 | 10,981,000 | 10,991,000 | △ 10,000 |
| 就農支援資金貸付金 | 2,947,500 | 3,543,500 | △ 596,000 |
| 就農支援資金貸倒引当金 | △ 1,439,500 | △ 757,750 | △ 681,750 |
| その他貸付金 | 0 | 6,350,000 | △ 6,350,000 |
| その他貸付金貸倒引当金 | 0 | △ 6,350,000 | 6,350,000 |
| その他固定資産合計 | 195,375,612 | 141,990,878 | 53,384,734 |
| 固定資産合計 | 1,894,937,636 | 1,957,185,345 | △ 62,247,709 |
| 資産合計 | 2,991,050,361 | 3,482,319,520 | △ 491,269,159 |

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 支払手形 | 47,461,502 | 66,015,430 | △ 18,553,928 |
| 農地中間管理事業等未払金 | 2,847,771 | 1,601,516 | 1,246,255 |
| 就農支援事業未払金 | 3,920,233 | 4,131,082 | △ 210,849 |
| 畜産振興事業未払金 | 186,852,516 | 18,069,684 | 168,782,832 |
| 農地整備事業未払金 | 37,329,052 | 70,676,272 | △ 33,347,220 |
| 法人会計未払金 | 1,185,504 | 1,013,953 | 171,551 |
| その他の未払金 | 33,355,803 | 36,692,769 | △ 3,336,966 |
| 農地中間管理事業等前受金 | 990,600 | 2,424,928 | △ 1,434,328 |
| 畜産振興事業前受金 | 0 | 119,128,600 | △ 119,128,600 |
| 農地整備事業前受金 | 0 | 1,129,755 | △ 1,129,755 |
| 未払費用 | 998,240 | 1,061,621 | △ 63,381 |
| 預り金 | 19,386,175 | 26,847,599 | △ 7,461,424 |
| 短期借入金 | 1,127,130,012 | 1,466,701,750 | △ 339,571,738 |
| 賞与引当金 | 20,310,552 | 22,437,779 | △ 2,127,227 |
| 完成工事補償引当金 | 2,415,012 | 1,968,642 | 446,370 |
| 前受金等 | 13,500,000 | 8,300,000 | 5,200,000 |
| 流動負債合計 | 1,497,682,972 | 1,848,201,380 | △ 350,518,408 |
| 2 固定負債 | | | |
| 農地中間管理事業等借入金 | 91,065,229 | 95,883,180 | △ 4,817,951 |
| 退職給付引当金 | 50,476,482 | 43,683,582 | 6,792,900 |
| リース未払金 | 86,127,423 | 52,492,062 | 33,635,361 |
| 賃借料減額対応預り金 | 327,700 | 327,700 | 0 |
| 受入保証金 | 12,585,099 | 15,075,114 | △ 2,490,015 |
| 固定負債合計 | 240,581,933 | 207,461,638 | 33,120,295 |
| 負債合計 | 1,738,264,905 | 2,055,663,018 | △ 317,398,113 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 1,647,899,066 | 1,769,823,264 | △ 121,924,198 |
| (うち特定資産への充当額) | (1,647,899,066) | (1,769,823,264) | (△121,924,198) |
| 2 一般正味財産 | | | |
| 一般正味財産合計 | △ 395,113,610 | △ 343,166,762 | △ 51,946,848 |
| (うち特定資産への充当額) | (1,186,476) | (1,687,621) | (△501,145) |
| 正味財産合計 | 1,252,785,456 | 1,426,656,502 | △ 173,871,046 |
| 負債及び正味財産合計 | 2,991,050,361 | 3,482,319,520 | △ 491,269,159 |

2 貸借対照表内訳表
令和5年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 収益事業等会計 | 法人会計 | 合 計 |
|--------------------|----------------------|----------------------|-------------------|----------------------|
| I 資産の部 | | | | |
| 1 流動資産 | | | | |
| 現金及び預金 | 25,956,365 | 18,631 | 23,448,937 | 49,423,933 |
| 農地中間管理事業等未収金 | 4,327,361 | | | 4,327,361 |
| 農地中間管理事業等貸倒引当金 | △ 771,854 | | | △ 771,854 |
| 農地整備事業未収金 | | 225,664,950 | | 225,664,950 |
| 未収補助金等 | 5,474,000 | 8,105,900 | | 13,579,900 |
| その他の未収金 | 12,314,504 | 11,047,300 | 76,298 | 23,438,102 |
| リース債権 | | 8,314,060 | | 8,314,060 |
| 前払賃借料 | 327,700 | | | 327,700 |
| 農地中間管理特例事業用地 | 112,253,934 | | | 112,253,934 |
| 南畠地区事業用地 | | 651,198,200 | | 651,198,200 |
| 出資金預け金 | | | 483 | 483 |
| 前払費用 | 345,314 | 3,974,503 | 1,876,711 | 6,196,528 |
| 前払金 | 1,219,454 | | | 1,219,454 |
| 貯蔵品 | | 913,374 | 26,600 | 939,974 |
| 流動資産合計 | 161,446,778 | 909,236,918 | 25,429,029 | 1,096,112,725 |
| 2 固定資産 | | | | |
| (1) 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 9,740,527 | 24,039,642 | 16,696,313 | 50,476,482 |
| 扱い手育成特定資産 | 1,646,600,500 | | | 1,646,600,500 |
| 機械及び装置 | | 3,641,220 | | 3,641,220 |
| 機械及び装置減価償却累計額 | | △ 2,271,593 | | △ 2,271,593 |
| 器具備品 | | | 2,711,940 | 2,711,940 |
| 器具備品減価償却累計額 | | | △ 1,596,525 | △ 1,596,525 |
| 特定資産合計 | 1,656,341,027 | 25,409,269 | 17,811,728 | 1,699,562,024 |
| (2) その他固定資産 | | | | |
| 建物 | 814,000 | 82,383,962 | | 83,197,962 |
| 建物減価償却累計額 | △ 232,804 | △ 74,781,391 | | △ 75,014,195 |
| 構築物 | | 28,545,761 | 923,030 | 29,468,791 |
| 構築物減価償却累計額 | | △ 17,723,515 | △ 323,821 | △ 18,047,336 |
| 機械及び装置 | 6,519,700 | 414,783,512 | | 421,303,212 |
| 機械及び装置減価償却累計額 | △ 4,015,155 | △ 380,496,576 | | △ 384,511,731 |
| 車両運搬具 | | 3,327,220 | | 3,327,220 |
| 車両運搬具減価償却累計額 | | △ 2,629,377 | | △ 2,629,377 |
| 器具備品 | 371,541 | 25,281,947 | 4,678,551 | 30,332,039 |
| 器具備品減価償却累計額 | △ 301,121 | △ 21,997,325 | △ 4,332,886 | △ 26,631,332 |
| リース資産 | | 86,127,423 | | 86,127,423 |
| 土地 | | 10,149,000 | 20,883,220 | 31,032,220 |
| ソフトウェア | 298,101 | | 140,415 | 438,516 |
| 電話加入権 | 317,400 | 105,800 | | 423,200 |
| 出資金 | | | 3,420,000 | 3,420,000 |
| 預託金 | 350,000 | | 300,000 | 650,000 |
| 支払保証金 | 758,500 | 10,222,500 | | 10,981,000 |
| 就農支援資金貸付金 | 2,947,500 | | | 2,947,500 |
| 就農支援資金貸倒引当金 | △ 1,439,500 | | | △ 1,439,500 |
| その他固定資産合計 | 6,388,162 | 163,298,941 | 25,688,509 | 195,375,612 |
| 固定資産合計 | 1,662,729,189 | 188,708,210 | 43,500,237 | 1,894,937,636 |
| 資産合計 | 1,824,175,967 | 1,097,945,128 | 68,929,266 | 2,991,050,361 |

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 収益事業等会計 | 法人会計 | 合 計 |
|-------------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|
| II 負債の部 | | | | |
| 1 流動負債 | | | | |
| 支払手形 | 42,472,100 | 4,989,402 | | 47,461,502 |
| 農地中間管理事業等未払金 | 2,847,771 | | | 2,847,771 |
| 就農支援事業未払金 | 3,920,233 | | | 3,920,233 |
| 畜産振興事業未払金 | 186,852,516 | | | 186,852,516 |
| 農地整備事業未払金 | | 37,329,052 | | 37,329,052 |
| 法人会計未払金 | | | 1,185,504 | 1,185,504 |
| その他の未払金 | 11,412,517 | 20,593,771 | 1,349,515 | 33,355,803 |
| 農地中間管理事業等前受金 | 990,600 | | | 990,600 |
| 未払費用 | △ 39,196 | 811,410 | 226,026 | 998,240 |
| 預り金 | 1,274,355 | 17,732,529 | 379,291 | 19,386,175 |
| 短期借入金 | △ 44,256,046 | 916,177,159 | 255,208,899 | 1,127,130,012 |
| 賞与引当金 | 5,165,368 | 11,239,056 | 3,906,128 | 20,310,552 |
| 完工工事補償引当金 | | 2,415,012 | | 2,415,012 |
| 前受金等 | | 13,500,000 | | 13,500,000 |
| 流動負債合計 | 210,640,218 | 1,024,787,391 | 262,255,363 | 1,497,682,972 |
| 2 固定負債 | | | | |
| 農地中間管理事業等借入金 | 91,065,229 | | | 91,065,229 |
| 退職給付引当金 | 9,740,527 | 24,039,642 | 16,696,313 | 50,476,482 |
| リース未払金 | | 86,127,423 | | 86,127,423 |
| 賃借料減額対応預り金 | 327,700 | | | 327,700 |
| 受入保証金 | 12,585,099 | | | 12,585,099 |
| 固定負債合計 | 113,718,555 | 110,167,065 | 16,696,313 | 240,581,933 |
| 負債合計 | 324,358,773 | 1,134,954,456 | 278,951,676 | 1,738,264,905 |
| III 正味財産の部 | | | | |
| 1 指定正味財産 | | | | |
| 指定正味財産合計 | 1,646,600,500 | 622,559 | 676,007 | 1,647,899,066 |
| (うち特定資産への充当額) | (1,646,600,500) | (622,559) | (676,007) | (1,647,899,066) |
| 2 一般正味財産 | | | | |
| 一般正味財産合計 | △ 146,783,306 | △ 37,631,887 | △ 210,698,417 | △ 395,113,610 |
| (うち特定資産への充当額) | | (747,068) | (439,408) | (1,186,476) |
| 正味財産合計 | 1,499,817,194 | △ 37,009,328 | △ 210,022,410 | 1,252,785,456 |
| 負債及び正味財産合計 | 1,824,175,967 | 1,097,945,128 | 68,929,266 | 2,991,050,361 |

3 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1 経常増減の部 | | | |
| (1)経常収益 | | | |
| 特定資産運用益振替額 | 16,349,439 | 14,516,533 | 1,832,906 |
| 事業収入 | 2,103,438,217 | 2,120,946,995 | △ 17,508,778 |
| 受取補助金等 | 691,125,561 | 349,211,026 | 341,914,535 |
| 受取出捐金(扱い手育成特定資産)振替額 | 25,000,000 | 25,000,000 | |
| 雑収益 | 2,155,386 | 1,734,139 | 421,247 |
| 貸倒引当金戻入額 | 226,985 | 247,833 | △ 20,848 |
| 完成工事保証引当金戻入額 | | 2,632,068 | △ 2,632,068 |
| 経常収益計 | 2,838,295,588 | 2,514,288,594 | 324,006,994 |
| (2)経常費用 | | | |
| 事業費 | 2,873,463,239 | 2,479,772,155 | 393,691,084 |
| 用地費 | 60,660,551 | 64,794,158 | △ 4,133,607 |
| 賃借料(農地中間管理事業等) | 1,105,005,553 | 1,042,915,627 | 62,089,926 |
| 交付費 | 20,836,100 | 16,779,200 | 4,056,900 |
| 資産控除事業費 | 6,307,905 | 6,307,906 | △ 1 |
| 材料費 | 134,052,683 | 187,569,698 | △ 53,517,015 |
| 機械購入費 | | 5,500,000 | △ 5,500,000 |
| 労務費 | 64,509,767 | 74,252,200 | △ 9,742,433 |
| 外注費 | 855,294,461 | 364,864,443 | 490,430,018 |
| 仮設費 | 2,121,133 | 2,301,233 | △ 180,100 |
| 役員報酬 | 6,292,944 | 6,305,384 | △ 12,440 |
| 職員人件費 | 317,032,290 | 331,667,557 | △ 14,635,267 |
| 需用費 | 41,573,078 | 48,190,829 | △ 6,617,751 |
| 役務費 | 11,651,131 | 11,637,189 | 13,942 |
| 賃借料 | 89,863,553 | 102,020,670 | △ 12,157,117 |
| 旅費 | 12,557,453 | 14,736,436 | △ 2,178,983 |
| 運搬費 | 24,315,562 | 26,929,918 | △ 2,614,356 |
| 備品費 | 1,370,941 | 385,451 | 985,490 |
| 減価償却費 | 8,881,882 | 14,658,280 | △ 5,776,398 |
| 租税公課 | 13,363,233 | 41,238,294 | △ 27,875,061 |
| 地代家賃 | 11,307,427 | 12,218,490 | △ 911,063 |
| 保険料 | 3,202,704 | 3,371,018 | △ 168,314 |
| 福利厚生費 | 2,797,157 | 3,412,385 | △ 615,228 |
| 新聞図書費 | 1,052,792 | 888,430 | 164,362 |
| 研修費 | 787,947 | 1,074,647 | △ 286,700 |
| 会議費 | 834,912 | 2,015,716 | △ 1,180,804 |
| 諸会費負担金 | 1,221,026 | 1,287,541 | △ 66,515 |
| 賃金 | 65,720,021 | 78,789,644 | △ 13,069,623 |
| 製品処分損 | | 1,436,480 | △ 1,436,480 |
| 雑費 | 961,661 | 2,497,581 | △ 1,535,920 |
| 支払利息 | 8,097,970 | 8,955,967 | △ 857,997 |
| 完成工事補償引当金繰入額 | 446,370 | | 446,370 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,343,032 | 769,783 | 573,249 |

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 管理費 | 21,261,691 | 23,313,050 | △ 2,051,359 |
| 役員報酬 | 2,156,256 | 2,173,026 | △ 16,770 |
| 職員人件費 | 8,687,522 | 9,539,962 | △ 852,440 |
| 需用費 | 828,545 | 959,006 | △ 130,461 |
| 役務費 | 356,175 | 414,362 | △ 58,187 |
| 旅費 | 130,386 | 94,777 | 35,609 |
| 外注費 | 1,164,020 | 1,182,808 | △ 18,788 |
| 備品費 | 62,346 | 28,394 | 33,952 |
| 減価償却費 | 637,044 | 1,076,986 | △ 439,942 |
| 賃借料 | 2,718,613 | 2,721,042 | △ 2,429 |
| 租税公課 | 35,864 | 35,716 | 148 |
| 地代家賃 | 3,080,073 | 3,352,869 | △ 272,796 |
| 保険料 | 5,105 | 9,210 | △ 4,105 |
| 福利厚生費 | 178,307 | 191,088 | △ 12,781 |
| 新聞図書費 | 32,694 | 54,791 | △ 22,097 |
| 研修費 | 33,649 | 67,738 | △ 34,089 |
| 会議費 | 66,268 | 109,975 | △ 43,707 |
| 諸会費負担金 | 120,112 | 119,040 | 1,072 |
| 賃金 | 938,514 | 1,146,333 | △ 207,819 |
| 雑費 | 30,198 | 35,927 | △ 5,729 |
| 経常費用計 | 2,894,724,930 | 2,503,085,205 | 391,639,725 |
| 当期経常増減額 | △ 56,429,342 | 11,203,389 | △ 67,632,731 |
| 2 経常外増減の部 | | | |
| (1)経常外収益 | | | |
| 固定資産売却益 | 4,614,497 | 1,044,997 | 3,569,500 |
| 経常外収益計 | 4,614,497 | 1,044,997 | 3,569,500 |
| (2)経常外費用 | | | |
| 固定資産除却損 | 3 | | 3 |
| 経常外費用計 | 3 | | 3 |
| 当期経常外増減額 | 4,614,494 | 1,044,997 | 3,569,497 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | △ 51,814,848 | 12,248,386 | △ 64,063,234 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 132,000 | 132,000 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 51,946,848 | 12,116,386 | △ 64,063,234 |
| 一般正味財産期首残高 | △ 343,166,762 | △ 355,283,148 | 12,116,386 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 395,113,610 | △ 343,166,762 | △ 51,946,848 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 特定資産運用益 | 16,349,439 | 14,516,533 | 1,832,906 |
| 特定資産評価損益等 | △ 96,364,200 | △ 1,977,400 | △ 94,386,800 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 41,909,437 | △ 40,395,688 | △ 1,513,749 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 121,924,198 | △ 27,856,555 | △ 94,067,643 |
| 指定正味財産期首残高 | 1,769,823,264 | 1,797,679,819 | △ 27,856,555 |
| 指定正味財産期末残高 | 1,647,899,066 | 1,769,823,264 | △ 121,924,198 |
| III 正味財産期末残高 | 1,252,785,456 | 1,426,656,502 | △ 173,871,046 |

4 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|---------------------------|---------------|
| | 農地中間管理 部門 (公1) | 就農支援部門 (公2) | 基盤整備部門等 (畜産振興) (公3) | 小 計 a |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | |
| (1)経常収益 | | | | |
| 特定資産運用益振替額 | | 16,349,439 | | 16,349,439 |
| 事業収入 | 1,175,459,048 | 232,485 | 387,590,719 | 1,563,282,252 |
| 受取補助金等 | 155,582,426 | 3,607,680 | 487,801,000 | 646,991,106 |
| 受取出捐金(担い手育成特定資産)振替額 | | 25,000,000 | | 25,000,000 |
| 雑収益 | 217,538 | 430,153 | 6,683 | 654,374 |
| 貸倒引当金戻入額 | 226,985 | | | 226,985 |
| 経常収益計 | 1,331,485,997 | 45,619,757 | 875,398,402 | 2,252,504,156 |
| (2)経常費用 | | | | |
| 事業費 | 1,340,295,294 | 60,544,238 | 876,456,372 | 2,277,295,904 |
| 用地費 | 60,660,551 | | | 60,660,551 |
| 賃借料(農地中間管理事業等) | 1,105,005,553 | | | 1,105,005,553 |
| 交付費 | | 20,836,100 | | 20,836,100 |
| 資産控除事業費 | | | | |
| 材料費 | | | 6,572,452 | 6,572,452 |
| 労務費 | | | 3,986,879 | 3,986,879 |
| 外注費 | 38,555,272 | 103,193 | 764,535,273 | 803,193,738 |
| 仮設費 | | | 693,884 | 693,884 |
| 役員報酬 | 2,547,144 | 524,412 | 674,244 | 3,745,800 |
| 職員人件費 | 63,736,118 | 24,172,117 | 49,568,699 | 137,476,934 |
| 需用費 | 2,423,202 | 946,159 | 9,002,896 | 12,372,257 |
| 役務費 | 6,206,169 | 981,018 | 857,111 | 8,044,298 |
| 賃借料 | 4,747,477 | 1,096,749 | 17,154,942 | 22,999,168 |
| 旅費 | 2,837,442 | 274,006 | 4,866,244 | 7,977,692 |
| 運搬費 | | | 4,082,700 | 4,082,700 |
| 備品費 | 1,011,498 | 69,636 | 89,010 | 1,170,144 |
| 減価償却費 | 428,233 | 1,177,229 | 306,516 | 1,911,978 |
| 租税公課 | 1,451,996 | 40,453 | 3,690,372 | 5,182,821 |
| 地代家賃 | 5,947,935 | 1,468,509 | 2,240,083 | 9,656,527 |
| 保険料 | 106,589 | 192,694 | 414,103 | 713,386 |
| 福利厚生費 | 1,145,390 | 229,845 | 301,110 | 1,676,345 |
| 新聞図書費 | 433,940 | 101,733 | 327,368 | 863,041 |
| 研修費 | 71,504 | 94,083 | 70,367 | 235,954 |
| 会議費 | 572,422 | 205,770 | 1,800 | 779,992 |
| 諸会費負担金 | 705,238 | 86,629 | 68,400 | 860,267 |
| 賃金 | 37,401,801 | 6,398,009 | 5,813,607 | 49,613,417 |
| 雑費 | 278,538 | 40,144 | 80,342 | 399,024 |
| 支払利息 | 3,360,000 | 824,000 | 1,057,970 | 5,241,970 |
| 完成工事補償引当金繰入額 | | | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 661,282 | 681,750 | | 1,343,032 |

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | |
|-----------------------|----------------------|----------------|---------------------------|---------------|
| | 農地中間管理 部門 (公1) | 就農支援部門 (公2) | 基盤整備部門等 (畜産振興) (公3) | 小 計 a |
| 管理費 | | | | |
| 役員報酬 | | | | |
| 職員人件費 | | | | |
| 需用費 | | | | |
| 役務費 | | | | |
| 旅費 | | | | |
| 外注費 | | | | |
| 備品費 | | | | |
| 減価償却費 | | | | |
| 賃借料 | | | | |
| 租税公課 | | | | |
| 地代家賃 | | | | |
| 保険料 | | | | |
| 福利厚生費 | | | | |
| 新聞図書費 | | | | |
| 研修費 | | | | |
| 会議費 | | | | |
| 諸会費負担金 | | | | |
| 賃金 | | | | |
| 雑費 | | | | |
| 経常費用計 | 1,340,295,294 | 60,544,238 | 876,456,372 | 2,277,295,904 |
| 当期経常増減額 | △ 8,809,297 | △ 14,924,481 | △ 1,057,970 | △ 24,791,748 |
| 2 経常外増減の部 | | | | |
| (1)経常外収益 | | | | |
| 固定資産売却益 | | | | |
| 経常外収益計 | | | | |
| (2)経常外費用 | | | | |
| 固定資産除却損 | | | | |
| 経常外費用計 | | | | |
| 当期経常外増減額 | | | | |
| 他会計振替前当期一般正味財産増減額 | △ 8,809,297 | △ 14,924,481 | △ 1,057,970 | △ 24,791,748 |
| 他会計振替額 | | | | |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | △ 8,809,297 | △ 14,924,481 | △ 1,057,970 | △ 24,791,748 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | | | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 8,809,297 | △ 14,924,481 | △ 1,057,970 | △ 24,791,748 |
| 一般正味財産期首残高 | △ 218,056,901 | 128,719,733 | △ 32,654,390 | △ 121,991,558 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 226,866,198 | 113,795,252 | △ 33,712,360 | △ 146,783,306 |
| III 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 特定資産運用益 | | 16,349,439 | | 16,349,439 |
| 特定資産評価損益等 | | △ 96,364,200 | | △ 96,364,200 |
| 一般正味財産への振替額 | | △ 41,349,439 | | △ 41,349,439 |
| 当期指定正味財産増減額 | | △ 121,364,200 | | △ 121,364,200 |
| 指定正味財産期首残高 | | 1,767,964,700 | | 1,767,964,700 |
| 指定正味財産期末残高 | | 1,646,600,500 | | 1,646,600,500 |
| IV 正味財産期末残高 | △ 226,866,198 | 1,760,395,752 | △ 33,712,360 | 1,499,817,194 |

(単位:円)

| 科 目 | 収益事業等会計 | | | 法人会計 c | 合 計 d=a+b+c |
|----------------------|----------------------------|------------------------|--------------------|------------------|----------------------|
| | 基盤整備部門等 (農地整備等) (収1) | 南畠地区事業 用地部門 (収2) | 小 計 b | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | |
| 特定資産運用益振替額 | | | | | 16,349,439 |
| 事業収入 | 540,155,965 | | 540,155,965 | | 2,103,438,217 |
| 受取補助金等 | 43,335,135 | | 43,335,135 | 799,320 | 691,125,561 |
| 受取出捐金(扱い手育成特定資産) 振替額 | | | | | 25,000,000 |
| 雑収益 | 1,084,287 | 79,820 | 1,164,107 | 336,905 | 2,155,386 |
| 貸倒引当金戻入額 | | | | | 226,985 |
| 経常収益計 | 584,575,387 | 79,820 | 584,655,207 | 1,136,225 | 2,838,295,588 |
| (2) 経常費用 | | | | | |
| 事業費 | 588,388,758 | 7,778,577 | 596,167,335 | | 2,873,463,239 |
| 用地費 | | | | | 60,660,551 |
| 賃借料(農地中間管理事業等) | | | | | 1,105,005,553 |
| 交付費 | | | | | 20,836,100 |
| 資産控除事業費 | 6,307,905 | | 6,307,905 | | 6,307,905 |
| 材料費 | 127,480,231 | | 127,480,231 | | 134,052,683 |
| 労務費 | 60,522,888 | | 60,522,888 | | 64,509,767 |
| 外注費 | 50,103,956 | 1,996,767 | 52,100,723 | | 855,294,461 |
| 仮設費 | 1,427,249 | | 1,427,249 | | 2,121,133 |
| 役員報酬 | 2,547,144 | | 2,547,144 | | 6,292,944 |
| 職員人件費 | 175,047,820 | 4,507,536 | 179,555,356 | | 317,032,290 |
| 需用費 | 28,518,020 | 682,801 | 29,200,821 | | 41,573,078 |
| 役務費 | 3,523,914 | 82,919 | 3,606,833 | | 11,651,131 |
| 賃借料 | 66,864,385 | | 66,864,385 | | 89,863,553 |
| 旅費 | 4,490,221 | 89,540 | 4,579,761 | | 12,557,453 |
| 運搬費 | 20,207,782 | 25,080 | 20,232,862 | | 24,315,562 |
| 備品費 | 200,797 | | 200,797 | | 1,370,941 |
| 減価償却費 | 6,969,904 | | 6,969,904 | | 8,881,882 |
| 租税公課 | 7,874,062 | 306,350 | 8,180,412 | | 13,363,233 |
| 地代家賃 | 1,649,700 | 1,200 | 1,650,900 | | 11,307,427 |
| 保険料 | 2,459,232 | 30,086 | 2,489,318 | | 3,202,704 |
| 福利厚生費 | 1,120,812 | | 1,120,812 | | 2,797,157 |
| 新聞図書費 | 189,751 | | 189,751 | | 1,052,792 |
| 研修費 | 539,993 | 12,000 | 551,993 | | 787,947 |
| 会議費 | 54,920 | | 54,920 | | 834,912 |
| 諸会費負担金 | 360,759 | | 360,759 | | 1,221,026 |
| 賃金 | 16,106,604 | | 16,106,604 | | 65,720,021 |
| 雑費 | 518,339 | 44,298 | 562,637 | | 961,661 |
| 支払利息 | 2,856,000 | | 2,856,000 | | 8,097,970 |
| 完成工事補償引当金繰入額 | 446,370 | | 446,370 | | 446,370 |
| 貸倒引当金繰入額 | | | | | 1,343,032 |

(単位:円)

| 科 目 | 収益事業等会計 | | | 法人会計 c | 合 計 d=a+b+c |
|-----------------------|----------------------------|------------------------|--------------|---------------|----------------|
| | 基盤整備部門等 (農地整備等) (収1) | 南畠地区事業 用地部門 (収2) | 小 計 b | | |
| 管理費 | | | | 21,261,691 | 21,261,691 |
| 役員報酬 | | | | 2,156,256 | 2,156,256 |
| 職員人件費 | | | | 8,687,522 | 8,687,522 |
| 需用費 | | | | 828,545 | 828,545 |
| 役務費 | | | | 356,175 | 356,175 |
| 旅費 | | | | 130,386 | 130,386 |
| 外注費 | | | | 1,164,020 | 1,164,020 |
| 備品費 | | | | 62,346 | 62,346 |
| 減価償却費 | | | | 637,044 | 637,044 |
| 賃借料 | | | | 2,718,613 | 2,718,613 |
| 租税公課 | | | | 35,864 | 35,864 |
| 地代家賃 | | | | 3,080,073 | 3,080,073 |
| 保険料 | | | | 5,105 | 5,105 |
| 福利厚生費 | | | | 178,307 | 178,307 |
| 新聞図書費 | | | | 32,694 | 32,694 |
| 研修費 | | | | 33,649 | 33,649 |
| 会議費 | | | | 66,268 | 66,268 |
| 諸会費負担金 | | | | 120,112 | 120,112 |
| 賃金 | | | | 938,514 | 938,514 |
| 雑費 | | | | 30,198 | 30,198 |
| 経常費用計 | 588,388,758 | 7,778,577 | 596,167,335 | 21,261,691 | 2,894,724,930 |
| 当期経常増減額 | △ 3,813,371 | △ 7,698,757 | △ 11,512,128 | △ 20,125,466 | △ 56,429,342 |
| 2 経常外増減の部 | | | | | |
| (1)経常外収益 | | | | | |
| 固定資産売却益 | 4,614,497 | | 4,614,497 | | 4,614,497 |
| 経常外収益計 | 4,614,497 | | 4,614,497 | | 4,614,497 |
| (2)経常外費用 | | | | | |
| 固定資産除却損 | 3 | | 3 | | 3 |
| 経常外費用計 | 3 | | 3 | | 3 |
| 当期経常外増減額 | 4,614,494 | | 4,614,494 | | 4,614,494 |
| 他会計振替前当期一般正味財産増減額 | 801,123 | △ 7,698,757 | △ 6,897,634 | △ 20,125,466 | △ 51,814,848 |
| 他会計振替額 | | | | | |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 801,123 | △ 7,698,757 | △ 6,897,634 | △ 20,125,466 | △ 51,814,848 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 132,000 | | 132,000 | | 132,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | 669,123 | △ 7,698,757 | △ 7,029,634 | △ 20,125,466 | △ 51,946,848 |
| 一般正味財産期首残高 | 1,123,631,396 | △ 1,154,233,649 | △ 30,602,253 | △ 190,572,951 | △ 343,166,762 |
| 一般正味財産期末残高 | 1,124,300,519 | △ 1,161,932,406 | △ 37,631,887 | △ 210,698,417 | △ 395,113,610 |
| III 指定正味財産増減の部 | | | | | |
| 特定資産運用益 | | | | | 16,349,439 |
| 特定資産評価損益等 | | | | | △ 96,364,200 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 249,371 | | △ 249,371 | △ 310,627 | △ 41,909,437 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 249,371 | | △ 249,371 | △ 310,627 | △ 121,924,198 |
| 指定正味財産期首残高 | 871,930 | | 871,930 | 986,634 | 1,769,823,264 |
| 指定正味財産期末残高 | 622,559 | | 622,559 | 676,007 | 1,647,899,066 |
| IV 正味財産期末残高 | 1,124,923,078 | △ 1,161,932,406 | △ 37,009,328 | △ 210,022,410 | 1,252,785,456 |

5 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 事業資産の評価基準及び評価方法

個別法（収益性の低下による簿価切下げの方法）による。

イ 固定資産の減価償却方法

(7) 有形固定資産

法人税法に基づく定率法による（ただし、平成10年度以降に取得した建物及び平成28年度以降に取得した構築物は定額法による）。

(4) リース資産

（貸し手側）

所有権移転外ファイナンスリース取引に係る「有形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法による。なお、残存価格については、リース契約上に残価保証の取決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零としている。

（借り手側）

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

ウ 有価証券の評価基準及び評価方法

(7) 満期保有目的の債券

償却原価法による。

(4) その他の有価証券

時価法による。

エ 引当金の計上基準

(7) 貸倒引当金

未収金等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については回収不能見込額を計上している。

(4) 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上している。

(9) 完成工事補償引当金

基盤整備部が直接行う暗渠排水工事や草地造成整備等の工事について、契約に基づく瑕疵担保責任による補修等が必要になった場合のその費用支出に備えるため、完成工事に係る手直し費用の実績に基づき計上している。

(1) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における自己都合要支給額から、(独)勤労者退職金共済機構からの支給見込額を控除した額を計上している。

オ 工事契約の会計処理

工事進行基準による。

カ 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税込み方式によって処理している。

キ 税効果会計の適用について

法人税法上の収益事業を実施しているが、過年度及び当年度に発生した一時差異等に係る税額に重要性が乏しいことから、繰延税金資産等の計上は行っていない。

(2) 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増減額 | | | 当期末残高 |
|-----------|---------------|------------|-------------|---------------|---------------|
| | | 当 期 增 加 額 | 当 期 減 少 額 | 計 | |
| 特定資産 | | | | | |
| 退職給付引当資産 | 43,683,582 | 7,088,428 | 295,528 | 6,792,900 | 50,476,482 |
| 扱い手育成特定資産 | 1,767,964,700 | 17,917,534 | 139,281,734 | △ 121,364,200 | 1,646,600,500 |
| 機械及び装置 | 1,918,244 | 0 | 548,617 | △ 548,617 | 1,369,627 |
| 器具備品 | 1,627,941 | 0 | 512,526 | △ 512,526 | 1,115,415 |
| 計 | 1,815,194,467 | 25,005,962 | 140,638,405 | △ 115,632,443 | 1,699,562,024 |

(3) 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 当 期 末 残 高 | (うち指定正味財産か らの充当額) | (うち一般正味財産か らの充当額) | (うち負債に對 応する額) |
|-----------|---------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 50,476,482 | - | - | (50,476,482) |
| 扱い手育成特定資産 | 1,646,600,500 | (1,646,600,500) | - | - |
| 機械及び装置 | 1,369,627 | (622,559) | (747,068) | - |
| 器具備品 | 1,115,415 | (676,007) | (439,408) | - |
| 計 | 1,699,562,024 | (1,647,899,066) | (1,186,476) | (50,476,482) |

(4) 担保に供している資産

土地10,149,000円と定期貯金20,000,000円は、短期借入金1,127,130,012円のうち518,130,012円の担保に供している。

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

| 運用商品名 | 帳 簿 価 額 | 時 価 | 評 価 損 益 | 備 考 |
|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 21年度2回岩手県債 | 35,000,000 | 37,177,000 | 2,177,000 | 扱い手育成特定資産 |
| 計 | 35,000,000 | 37,177,000 | 2,177,000 | |

・債券運用基準

特定資産の運用に当たっては運営要領に基づき、安全性、流動性 及び 収益性に十分に留意しながら運用している。

※ 債券の時価は、証券会社の評価・算定情報による参考価格である。

(6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|------------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------|-------------|
| 補助金 | | | | | | |
| 農地中間管理特例事業業務費補助金 | 県 | 0 | 4,910,000 | 4,910,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 農地中間管理事業補助金 | 県 | 0 | 150,364,671 | 150,364,671 | 0 | 一般正味財産 |
| 遊休農地解消緊急対策事業補助金 | 県 | 0 | 307,755 | 307,755 | 0 | 一般正味財産 |
| 就農支援資金貸付等事務事業 | 県 | 0 | 520,000 | 520,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 草地畜産基盤整備事業補助金 | 国・県・町 | 0 | 456,356,000 | 456,356,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 畜産環境総合整備事業補助金 | 国・県 | 0 | 31,445,000 | 31,445,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 畜産生産力・生産体制強化対策事業 | 国 | 871,930 | | 249,371 | 622,559 | 指定正味財産 |
| テレワーク導入推進事業費補助金 | 県 | 986,634 | | 310,627 | 676,007 | 指定正味財産 |
| 助成金 | | | | | | |
| 両立支援等助成金 | 国 | 0 | 488,693 | 488,693 | 0 | 一般正味財産 |
| 計 | | 1,858,564 | 644,392,119 | 644,952,117 | 1,298,566 | |

(7) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内容

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

| 内 容 | 金 額 |
|---------------------|------------|
| 経常収益への振替額 | |
| 特定資産運用益振替額 | 16,349,439 |
| 減価償却費計上による振替額 | 559,998 |
| 受取出捐金(扱い手育成特定資産)振替額 | 25,000,000 |
| 計 | 41,909,437 |

第4 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|----------------|--|--|-------------|
| (流動資産) | | | |
| 現金及び預金 | | | 49,423,933 |
| 現金(本社) | 手元保管 | 運転資金として使用 | 51,097 |
| 現金(基盤整備部花巻事務所) | 手元保管 | 運転資金として使用 | 18,631 |
| 普通預金 | ㈱岩手銀行本店 | 運転資金として使用 | 3,366,556 |
| 普通貯金 | 岩手県信用農業協同組合連合会本所 | 運転資金として使用 | 0 |
| ゆうちょ銀行振替口座 | ゆうちょ銀行 | 運転資金として使用 | 31,284 |
| 定期貯金 | 岩手県信用農業協同組合連合会本所 | 岩手県信用農業協同組合連合会との当座取引における当座借越の担保として使用 | 20,000,000 |
| 定期貯金 | 岩手県信用農業協同組合連合会本所 | 運転資金として | 25,000,000 |
| 就農支援事業預金 | 岩手県信用農業協同組合連合会本所及び㈱岩手銀行本店 | 農業担い手の確保・育成等に関する事業(公2)のうち、就農支援資金貸付対策事業の実施のための事業資金 | 917,547 |
| チャレンジファーム普通預金 | 新岩手農協 | 農業担い手の確保・育成等に関する事業(公2)のうち、いわて新農業人チャレンジファーム事業の実施のための事業資金 | 38,818 |
| 農地中間管理事業等未収金 | 事業実施農家等からの未収金 | 農地中間管理事業等及び農地等の有効活用に資する事業(公1)における未収金 | 4,327,361 |
| 農地中間管理事業等貸倒引当金 | 上記未収金の貸倒引当金 | 上記未収金の貸倒引当金 | △ 771,854 |
| 農地整備事業未収金 | 事業実施農家等からの未収金 | 農地整備事業等(収1)における未収金 | 225,664,950 |
| 未収補助金等 | 岩手県等からの未収金 | 農業担い手の確保・育成等に関する事業(公2)、担い手の粗飼料生産基盤や家畜飼養設備等の整備を行う事業(公3)及び農地整備事業等(収)における補助金等の未収金 | 13,579,900 |
| その他の未収金 | 証券会社等からの未収金 | 上記諸未収金外の未収金 | 23,438,102 |
| リース債権 | 事業実施農家等からのリース債権 | いわてリースティング経営体育成支援事業(収)及びいわて型野菜トップモデル産地創造事業に係る農業機械リース事業(収)におけるリース債権 | 8,314,060 |
| 前払賃借料 | 事業実施農業者等に前払った賃借料 | 農地中間管理事業(公1)における前払賃借料の保有額 | 327,700 |
| 農地中間管理特例事業用地 | 事業実施農業者等から買入れた農地等 | 農地中間管理特例事業(公1)における農地等の保有額 | 112,253,934 |
| 南畠地区事業用地 | 零石町大字南畠第28地割字女夫石地内 農地407,374m ² 雑種地(宅地、施設用地)48,227m ² 合計455,601m ² | 南畠地区事業用地(収)における土地の保有額 | 651,198,200 |
| 出資金預け金 | 農業協同組合への出資に対する配当金の預け金 | 新岩手農協零石支所の出資配当金の預け金 | 483 |

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------|-----------|---|--|---------------|
| | 前払費用 | 保険会社等に対する前払い費用 | 保険料及び受信料等の前払費用5,784,028円 粗飼料生産供給事業の前払費用412,500円 | 6,196,528 |
| | 前払金 | 供託所に供託した賃料 前払金他 | 農地中間管理事業等(公1)における賃料 前払金(供託金)618,069円 農地中間管理特例事業(公1)における所有者不確知農地の利用権設定補償金(供託金)601,385円 | 1,219,454 |
| | 貯蔵品 | 盛岡市神明町7-5 外 | 志家駐車場の駐車券200円券×103枚 20,600円 買い物置き印紙1,000円×1枚 1,000円 5,000円×1枚 5,000円 もみ袋期末棚卸42,000枚 913,374円 | 939,974 |
| 流动資産合計 | | | | 1,096,112,725 |
| (固定資産) | 特定資産 | | | |
| | 退職給付引当資産 | 普通貯金 岩手県信用農業協同組合連合会本所 | 退職給付引当金に対応する資産 | 50,476,482 |
| | 担い手育成特定資産 | 投資有価証券等(岩手県債 外19) | 運用益等を農業担い手の確保・育成等に関する事業(公2)及び当該事業を推進するための経費に充てることを目的として保有 | 1,646,600,500 |
| | 機械及び装置 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-3 自動操舵システム | 農地整備事業等(収1)における農地改良工事等を行う事業に使用 | 1,369,627 |
| | 器具備品 | 盛岡市神明町7-5 外 Web会議システム 外 | 公益目的事業、収益事業及び法人の管理運営に使用している共有財産 | 1,115,415 |
| 特定資産合計 | | | | 1,699,562,024 |
| その他固定資産 | | | | |
| | 建物 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-3 工場(鉄骨造平屋)867.51m ² 、格納庫(鉄骨造平屋)960.39m ² 、事務所(鉄骨2階建)460.59m ² | 農地整備事業等(収1)における基盤整備部花巻事務所及び機械整備工場として使用 | 8,183,767 |
| | 構築物 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-3 外 鉄柵、門柱、フェンス、及び舗装路面外 | 農地整備事業等(収1)における基盤整備部花巻事務所及び機械整備工場として使用 | 11,421,455 |
| | 機械及び装置 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-3 スクレーパー等 外 | 農地整備事業等(収1)における農地改良工事等及び担い手の粗飼料生産基盤や家畜飼料設備等の整備を行う事業(公3)に使用 | 36,791,481 |
| | 車両運搬具 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-3 軽トラック 外 | 粗飼料広域生産供給事業(収1)における生産ロールを南畠地区事業用地(収)で生産するために使用 | 697,843 |
| | 器具備品 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-3 外 半自動溶接機 外 | 農地整備事業等(収1)における農地改良工事等及び担い手の粗飼料生産基盤や家畜飼料設備等の整備を行う事業(公3)、公益目的事業、収益事業及び法人の管理運営に使用 | 3,700,707 |
| | リース資産 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-3 プロトキャスター 外 | 農地整備事業等(収1)における農地改良工事等及び担い手の粗飼料生産基盤や家畜飼料設備等の整備を行う事業(公3)に使用 | 86,127,423 |

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|-------------|--|---|---------------|
| 土地 | 花巻市二枚橋町南一丁目46-1外3 現況宅地 6,380.8m ² 八幡平市松尾寄木第1地割505番地89外1 現況宅地 3,557.0m ² 零石町大字西安庭第37地割字除117番地14外6現況山林 24,790.0m ² | 農地整備事業等(収1)における基盤整備部花巻事務所及び機械整備工場として使用 10,149,000円 旧保養施設用地20,392,281円 南畠地区事業用地のうち、事業用資産から除外した土地490,939円 | 31,032,220 |
| ソフトウェア | 盛岡市神明町7-5 | 農地中間管理事業(公1)における契約書等をPDF化し農地の貸借データと連動管理するシステムとして使用298,101円 | 438,516 |
| | 盛岡市神明町7-5 | 法人会計における給与明細を電子化し、給与システムと連動するシステムとして使用 140,415円 | |
| 電話加入権 | 電話加入権9本 | 75%である317,400円は公益目的保有財産であり公益事業(公1、公2、公3)で使用、 25%である105,800円は農地整備事業等(収1)で使用 計423,200円 | 423,200 |
| 出資金 | 岩手県信用農業協同組合連合会 338口 (3,380,000円) 新岩手農業協同組合 1口(30,000円) ケイ・シー・エム協同組合 1口(10,000円) | 岩手県信用農業協同組合連合会の338口3,380,000円は事業資金調達に係る出資金 新岩手農業協同組合の1口30,000円は公益目的事業実施に係る出資金 ケイ・シー・エム協同組合の1口10,000円は会員としての出資金 | 3,420,000 |
| 預託金 | 全国農地保有合理化協会 1口(350,000円) 岩手県畜産協会 6口 (300,000円) | 全国農地保有合理化協会の1口350,000円は公益目的事業実施に係る預託金 岩手県畜産協会の6口300,000円は会員としての預託金 | 650,000 |
| 支払保証金 | 東日本高速道路後納料金等支払保証金890,000円 宅地建物取引業営業保証金として供託 10,000,000円 JR北東北第一興商駐車場賃貸借契約保証金 91,000円 | 75%である667,500円は公益目的保有財産であり公益事業(公1、公2、公3)で使用、 25%である222,500円は農地整備事業等(収1)で使用 計890,000円 南畠地区事業用地部門(収2)における宅地建物販売のための営業保証金としての供託10,000,000円 JR北東北第一興商駐車場賃貸借契約で公益事業で使用1台当たり13,000円×7台(公1:3台、公2:1台、公3:3台) | 10,981,000 |
| 就農支援資金貸付金 | 事業実施新規就農者に対する貸付 | 農業担い手の確保・育成等に関する事業(公2)のうち、就農支援資金貸付対策事業の実施による貸付 | 2,947,500 |
| 就農支援資金貸倒引当金 | 上記就農支援事業貸付金の貸倒引当金 | 上記就農支援事業貸付金の貸倒引当金 | △ 1,439,500 |
| その他固定資産合計 | | | 195,375,612 |
| 固定資産合計 | | | 1,894,937,636 |
| 資産合計 | | | 2,991,050,361 |

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|------------------|---|--|---------------|
| (流動負債) | | | |
| 支払手形 | 事業実施に伴う支払に 対しての支払手形 | 扱い手の粗飼料生産基盤や家畜飼養設備 等の整備を行う事業(公3)及び農地整備事 業等(収1)における発注工事等の支払手形 46,581,502円 農地中間管理事業等(公1)における農地 コーディネーター用タブレット代 880,000円 | 47,461,502 |
| 農地中間管理事業等未 払金 | 事業未払金 | 農地コーディネーター事務所使用料等の未 払分 | 2,847,771 |
| 就農支援事業未払金 | 事業未払金 | 農業扱い手の確保・育成等に関する事業 (公2)における交付金等の未払分 | 3,920,233 |
| 畜産振興事業未払金 | 事業未払金 | 扱い手の粗飼料生産基盤や家畜飼養設備 等の整備を行う事業(公3)における工事代金 等の未払分 | 186,852,516 |
| 農地整備事業未払金 | 事業未払金 | 農地整備事業等(収1)におけるもみがら及 びリース料等の未払分 | 37,329,052 |
| 法人会計未払金 | 事業未払金 | 法人会計における事務用品等の未払分 | 1,185,504 |
| その他の未払金 | 上記事業未払金外の未 払金 | 上記未払金外の未払金 | 33,355,803 |
| 農地中間管理事業等前 受金 | 事業実施農業者からの 前受金 | 農地中間管理事業等(公1)における分割 売渡しによる前受金 | 990,600 |
| 未払費用 | 岩手県信用農業協同組 合連合会及び㈱北日本 銀行 | 当座預金口座における当座借越利息の未 払費用計上 | 998,240 |
| 預り金 | | | 19,386,175 |
| 農地中間管理事業等 預り金 | 事業実施に伴う農業者 等からの預り金 | 農地中間管理事業等(公1)における預り金 426,936円 | |
| リース事業等預り金 | リース事業等の実施等 に伴う預り金 | 扱い手の機械施設等のリース事業(収1)、 農業扱い手確保・育成等に関する事業(公2) の研修事業及び南畠地区事業用地(収2)等 に関する預り金 16,233,561円 | |
| 健康保険料等預り金 | 職員の社会保険料の預 り金 | 職員の健康保険料、厚生年金保険料、所 得税及び地方税の預り金 2,725,678円 | |
| 短期借入金 | 岩手県信用農業協同組 合連合会本所 ㈱北日本銀行本店 ㈱岩手銀行本店 | 岩手県信用農業協同組合連合会の当座借 越額518,130,012円 北日本銀行の当座借越額300,000,000円 岩手銀行の当座借越額309,000,000円 | 1,127,130,012 |
| 賞与引当金 | 職員に対する賞与引当 金 | 職員に対するR5年度6月賞与の支払いに備 えた引当金 | 20,310,552 |
| 完工工事補償引当金 | 受託工事等、及び直管 工事における手直し工事 等に対する引当金 | 畜産振興事業(公3)及び農地整備事業等 (収)における工事を引渡した後の瑕疵担保 責任に備えたもの | 2,415,012 |
| 前受金等 | 南畠地区事業用地買入 者からの前受金 | 南畠地区事業(収2)における事業用地売 渡代金の前受金 | 13,500,000 |
| 流動負債合計 | | | 1,497,682,972 |
| (固定負債) | | | |
| 農地中間管理事業等借 入金 | (社)全国農地保有合理 化協会からの借り入れ | 農地中間管理事業(公1)における農地の買 入れ及び農地の賃貸借のための借り入れ | 91,065,229 |
| 退職給付引当金 | 職員に対する退職給付 引当金 | 職員への退職金支払いに備えた引当金 | 50,476,482 |
| リース未払金 | | 上記(固定資産)、その他固定資産、リース資 産に対応する見返勘定 | 86,127,423 |
| 賃借料減額対応預り金 | 事業実施農業者等から の預り金 | 農地中間管理事業特例事業(公1)におい て賃貸人から預かった預り金 | 327,700 |
| 受入保証金 | 事業実施農業者等から の受入保証金 | 農地中間管理特例事業(公1)において買 受予定者から預かった保証金 | 12,585,099 |
| 固定負債合計 | | | 240,581,933 |
| 負債合計 | | | 1,738,264,905 |
| 正味財産 | | | 1,252,785,456 |

監査報告書

令和5年5月31日

公益社団法人岩手県農業公社
理事長 上田幹也様

公益社団法人岩手県農業公社

監事 萩原、和則 

監事 小丘暢章 

私たち監事は、令和5年5月31日に令和4年度（第11年度）における理事の職務の執行並びに事業報告及び決算について監査を実施しました。その方法及び結果について、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方針によって、当該年度に係る事業報告について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、当公社の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当公社の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認めます。